

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
2025年 4月14日	
札幌市長 様	
提出者	
住 所 札幌市西区八軒10条西2丁目4番20号	
氏 名 タニケン工業株式会社	
代表取締役 谷 康成	
電話番号 011-641-0271	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	タニケン工業株式会社
事業場の所在地	札幌市西区八軒10条西2丁目4番20号
計画期間	令和 7年 4月 1日～令和 8年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	一般建設業 総合工事業
② 事業の規模	売上高 485百万円、資本金 20百万円
③ 従業員数	18人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	・コンクリートがら：自社運搬及び収集運搬業者に委託→中間処理業者に委託し再生骨材として再資源化。 ・アスコンがら：自社運搬及び収集運搬業者に委託→再生処理業者で再生化。 ・建設汚泥：自社で運搬→再生処理業者に委託し再資源化。 ・廃プラスチック類：自社及び収集運搬業者に委託→再生処理業者で再資源化。 ・混合廃棄物：収集運搬業者に委託→再生処理業者で再資源化。



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
社内管理責任者→各現場責任者(現場代理人)→各運搬業者			
社内管理責任者：産業廃棄物全般を確認管理			
各現場責任者：各現場の処理状況の確認管理			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度(令和6年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトがら	コンクリートがら
	排出量	1,660 t	222 t
	(これまでに実施した取組) ・再資源化施設で再生利用をしている。 ・予定数量以上の排出を抑制している。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトがら	コンクリートがら
	排出量	1,500 t	200 t
	(今後実施する予定の取組) ・現状での取り組みを継続して実施予定。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・アスファルトがら、コンクリートがらは分別。		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状での取り組みを継続して実施予定。		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図)			
社内管理責任者→各現場責任者(現場代理人)→各運搬業者			
社内管理責任者：産業廃棄物全般を確認管理			
各現場責任者：各現場の処理状況の確認管理			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度(令和6年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類他
	排出量	14.5 t	4.7 t
	(これまでに実施した取組) ・再資源化施設で再生利用をしている。 ・予定数量以上の排出を抑制している。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類他
	排出量	13.0 t	4.2 t
	(今後実施する予定の取組) ・現状での取り組みを継続して実施予定。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・建設汚泥、廃プラスチック類、混合廃棄物は分別。		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状での取り組みを継続して実施予定、混合廃棄物についても、できるだけ切り分けを行い、再資源化に努める。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第5面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトがら	コンクリートがら
	全 処 理 委 託 量	1, 6 6 0 t	2 2 2 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	6 9 0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	9 7 0 t	2 2 2 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・委託基準に従い、必要な許可を持った産業廃棄物処理業者に委託している。 ・再資源化率の高い処理業者に排出している。		

(第6面)

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	アスファルトがら	コンクリートがら
		全 処 理 委 託 量	1, 5 0 0 t	2 0 0 t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	7 5 0 t	0 t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	7 5 0 t	2 0 0 t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
② 計画	(今後実施する予定の取組) ・再生利用が可能である廃棄物に関しては、再生利用できる業者に処理委託する。 ・可能な限り、優良認定処理業者に優先的を選定する。			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類他
	全 処 理 委 託 量	1 4 . 5 t	4 . 7 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1 4 . 5 t	4 . 7 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
(これまでに実施した取組) ・委託基準に従い、必要な許可を持った産業廃棄物処理業者に委託している。 ・優良認定処理業者に優先的に委託している。			

(第7面)

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類他
		全 処 理 委 託 量	13.0 t	4.2 t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	13.0 t	4.2 t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	② 計画	(今後実施する予定の取組) ・再生利用が可能である廃棄物に関しては、再生利用できる業者に処理委託する。 ・継続して優良認定処理業者に優先的に委託する。		
		【前年度(令和6年度実績)】		
		特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル塩化物を除く。)	t	
	電子情報処理組織の使用に関する事項	(今後実施する予定の取り組み) ・次年度について、電子マニフェスト使用義務者に該当しない。		
	※事務処理欄			

(第8面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請け完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模がわかるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項のすべてを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。